

きょうと福祉倶楽部だより

2024年 第10号

国際福祉機器展2024年へ参加

きょうと福祉倶楽部は10月4日年に一度東京有明の「東京ビックサイト」で開催される国際福祉機器展に7年ぶりに参加しました。

この展示会は日本で開催される福祉機器の展示会ではアジア最大規模の催しです。

この催しは介護保険が始まる以前より続けられてきた歴史的な展示会です。



わたしは介護保険が始まる前からこの催しに参加をしてきました。ピークは介護保険の開催前夜の1999年、介護保険施行の2000年でしょうか。その頃は展示物を観るのに急いでも二日はかかるほど展示物がありました。そして出展はデンマークやスウェーデンなどの福祉先進国も多数出展していました。

高齢者が増え、障がい者の人権も叫ばれるいま、さぞやこの展示会も大きくなるやと思うのですが、実態はどんどんと縮小しています。この実態を観て、2000年に知り合ったデンマークのベッドメーカーの方のつぶやいた疑問の言葉を思い出しました。

「なぜ我が社の優れた商品が日本では普及しないのか？」

そのときにわたしがお伝えしたことは

「日本には福祉にお金をかけたくない国だから高価な商品は普及しないんです」ということでした。

そのあと日本の在宅介護の現場にお連れしてからは多くの高齢者世帯の貧困に気づかれたのか一切疑問を出されることは無くなりました。



それから24年。

福祉先進国どころか日本の出展企業も減りました。

広い会場はどんどん歩きやすくなりました。

そんな展示会ですから、「これはいい」という品物も目立たなくなってしまいました。

そんな中でも少しでも利用される方の生活を向上させる物を探したいと考え、見つけた品物をふたつだけ紹介します。

ひとつは大阪箕面の会社PASが出展した商品です。



車椅子の座面と背もたれをカバーする

「eco楽pinto」です。

通気性の良い高反発素材で作られ、良い姿勢を保持するということも可能だという商品です。

まだレンタル商品とはなっていませんが、おそらく取り扱いが始まると思います。



もうひとつは、サカエ工業の

「スマイルオープナーどこでも」です。

高齢になってペットボトルが開けられない

ひとが気軽にこれがあれば開栓できます。

価格も安価な物ですので誰でも気軽に利用できるのではないのでしょうか？

